

ロタウイルスワクチンについて

乳幼児に多く起こる感染性胃腸炎の重症化を予防する飲む生ワクチンです。生後2か月を過ぎたら、計画的に接種をすすめましょう。

<ワクチンの種類と回数>

1. ロタリックス 生後6週から生後24週までに2回
2. ロタテック 生後6週から生後32週までに3回

※ワクチンは2種類あり、どちらも飲む生ワクチンで同様の効果があります。

医療機関によって接種できるワクチンの種類が異なりますので、ご希望のワクチン種類がある方は、医療機関へお問い合わせください。

※最初に受けたワクチンと同じ種類のワクチンを、27日以上の間隔をあけて接種してください。

※1回目は、生後14週6日までに接種してください。

生後15週以降は、安全性の観点から接種できません。

<予診票>

生後2か月を迎える月初めに3枚送付します。

ロタリックスを選択した場合は、予診票が1枚余りますので、破棄してください。

<接種後の注意点>

接種後1～2週間くらいまでの間に、「腸重積症」にかかりやすくなると報告されています。「腸重積症」とは、腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気で、ワクチン接種にかかわらず、赤ちゃんがかかりやすい病気のひとつです。

便に血が混じる、嘔吐を繰り返す、突然激しく泣く、ぐったりしているなどの症状があれば、早めに医療機関を受診しましょう。